

タウンニュース

越木岩

令和6年5月1日発行
No.385 (年6回発行)

編集・発行
越木岩コミュニティ協議会
74-2110

子どもに伝えたい「越木岩の歴史」 5. だんじりの復活

昭和30年代に一気に開発が進み、今の越木岩の基ができたのですが、それまでののんびりした農村が住宅地へと急速に変化していきました。

それはまた、町の風景だけでなく、人々の生活様式にも大きな変化をもたらしました。それまでは専業や兼業農家で生計を立てていたのが、田畑の急激な減少で勤め人となり、それまであったつながりが弱まり、越木岩のシンボルであった「だんじり祭」の維持が難しくなりました。

町並みの変化とともに、人とのふれ合いや町への親しみが薄れていくのを感じて、立ち上がったのが越木岩青年会でした。昭和50(1975)年に発足し、さまざまな活動に取り組み始めました。春は「桜祭り」を子どもたちの灯籠で彩り、祭り終了後に夙川を清掃、夏は納涼盆踊りの実施、秋は越木岩神社の秋祭りを手伝えるなど「越木岩で暮らす全

ての人々のために！」を強く意識したものでした。

そして、「地域の若者の親睦と連帯、子どもたちがどこに行っても忘れることのない故郷づくり、そして、次代の地域のリーダーを育てること」を基本的な理念として掲げ、それは現在まで脈々と受け継がれています。(『越木岩青年会記念誌』第九代灘儀勢一氏の寄稿より抜粋)



青年会が中心となる式番だんじり

だんじり復活に向けての第一歩は「納涼盆踊り」でした。北夙川小学校の運動場に手作りの檜ひのきを建て、婦人部が夜店

を出し、盛大に行われましたが、その主力になったのが青年会のエネルギーでした。昭和57年には「新越木岩音頭」が作られ、体育館で発表、披露されました。この高揚感が引き継がれ、だんじりの復活につながっていきます。

秋祭りに参加した人々は、神社の小屋にひっそりと残されていた「だんじり」の巡行ができないのか？と声を上げて各方面と折衝しましたが、交通事情などでなかなか許可が出ずに数年を要しました。そして昭和55年、18年ぶりにだんじりの巡行が復活したのです。一度途絶えた伝統の復活は大変だったようで、残されていたのは南越木岩のだんじり1基。車輪の部品調達から始まる修復作業、お囃子隊はやしの練習は神社境内で、そして身にまとう法被はっぴ、わらじは神社から借りて、当日を迎えたそうです。

ライトであるだんじり巡行は住民にとってより親しみやすいものになったのではないのでしょうか。女性がだんじりの屋根で踊り、外国の人たちも運行に携わることがごく自然である光景を目にします。



式番、式番だんじりによる阪急苦楽園口駅前練り回り

子どもをメインにしてのふささどづくりは、青年会そしてOB会、だんじり保存会、自治会によって、今も前進し続けています。

—おわびと訂正—
令和6年1・2月号1面、4段目7、8行目の本文に誤りがありました。訂正しておわびします。

(正) 昭和41年
(誤) 昭和46年

インタビュアー…だんじり保存会 多田 豊氏 写真提供…越木岩青年会
参考文献…越木岩青年会記念誌『越木岩青年会』2000年刊

防災教育講演会

in 苦楽園中学校

体験型の防災教育講演会が、苦楽園中学校で1月12日に開催されました。全学年の生徒と地域住民、保護者対象で行われ、当日、1年生と地域住民対象の体験を見学しました。

最初に防災士の岩田さやか氏の講演が行われ、岩田氏自身が実際に阪神・淡路大震災で被災した体験が語られました。



熱心に講師の話を受講する生徒たち

「いつ、どこで災害に遭うかわからない」「たった1秒で人生や生活が変わる」「防災グッズも必要だが、いざというときのために心の備え、訓練や体験が大切」など、貴重な話を聞くことができました。

講演の後、避難所設営時と同じ配置で、段ボールベッド

の組み立て体験を行いました。各グループの生徒たちは、おのおの用意された段ボールベッドを組み立てていきました。まず蛇腹の段ボールに支えとなる段ボールを番号通りに差し込み、土台を作ります。その上に段ボールの板を置く



完成した段ボールベッドにグループ全員で腰掛けています

早々に組み立てて全員で腰かけるグループもあれば、うまく組み立てられず悪戦苦闘するグループもあったりと、体験型ならではの光景が見られました。

最後に、新聞紙を用いて簡易スリッパを作る体験も行いました。説明書を見ながら、誰もが手早く作ることができました。

一方的に講演を聞くだけでなく、実際に体験を通して学ぶ良い機会となりました。

「大谷グローブ」が届いたよ!

届いたよ!

北夙川小学校にも新年早々「大谷グローブ」が届きました。メジャーリーグの大谷翔平選手から「野球しようぜ!」の言葉と共に贈られたもので、右利き用二つ(大小各一)と左利き用一つに大谷選手のサインがプリントされています。

1月9日に全校児童に披露され、6年生から各クラスを回りました。子どもたちは順次、贈られたグローブをはめて体育館で楽しそうにキャッチボールをしました。



真新しい「大谷グローブ」

この体験は、きっと子どもたちに夢や勇気を与えることでしょう。

土俵祭り開催! 大相撲が少し身近に感じられます

土俵祭りが2月22日に越木岩神社で執り行われました。

越木岩神社は令和4年の大相撲三月場所から二子山部屋の宿舎になっていきます。練習する土俵を整えるために両国国技館や大阪場所と同じ土に入れ替えをしました。

大きなトラックとクレーン車で埼玉県から土を運び、力士らが昔ながらの道具と自らの力で10tもの土をならし、呼び出し3人も加わって2日かけて整えます。



土俵に1tの土を10袋並べていきます

当日の儀式では四方を俵、土俵中央を塩と酒で清め、関係者が見守る中、厳粛な式典となりました。

神社では9月23日(月・祝)に奉納相撲大会があります。幼児から大人まで大勢の人たちが参加して、力士に負けないうぐらい力強く真剣な取り組みが見られます。



土の入った袋は重い!「うんとこしょ どっこいしょ」



古くからの伝統的な儀式です

スポーツクラブ21北夙川卓球部

第7回は卓球部を紹介しました。松本信英部長に話を聞きました。

現在部員は10〜80代の男性13人、女性14人です。主に越木岩地域在住の人が中心ですが、他の地域から参加する人も歓迎しています。

活動を始めるきっかけは、友人に誘われたり、「卓球を楽しもう」というイベントに参加したことなどだそうです。初心者から経験者まで、幅広く活動しています。

今年のイベントは2月18日に行われました。友人や家族連れなど34人が参加し、卓球台でのプレーや自動で球が出る



練習風景

てくる卓球マシンの体験など、大盛況でした。



幅広い世代と一緒に活動しています

試合は市内スポーツクラブ21の混合ダブルスやダブルスの団体戦、西宮市卓球協会主催の夏、冬リーグ団体戦などに出場します。試合に出たい人はできるだけ出られるようにしています。他のチームの人と対戦することで、刺激を受けて練習の励みになるそうです。

練習は5分ぐらいで交代しながら総当りしたり、くじ引きでダブルスを決めて対戦したりします。卓球マシンを相手に、気を使わずに練習することもできます。初心者に経験者がアドバイスしたりし



声をかけ合いながら真剣勝負

て、楽しみながら技術の向上を目指します。

卓球部に入って良かったことは「外出のきっかけになった」「ストレス解消になる」など。また、うまくプレーできるときや、良かったことをお互いに褒め合うので、楽しく時間を過ごせるそうです。1回ごとのビジター参加も可能です。興味のある人はぜひ見学に来てください。

活動日	毎週土曜日19~21時 第2・4日曜日14~16時
場所	北夙川小体育館
参加要件	学生可
問い合わせ先	(卓球部) 080-8347-1186(松本)

北夙川子ども会

4年 河田 季玖乃

私の夢は、画家です。3年生から、絵の教室に通っています。花や野さい、貝がらなどを見てかくことや、ねこの写真を見てかくことが好きです。絵の具で色をぬるよりも色えんぴつでぬる方が好きだったけど今は、どちらも、使いこなすことができるようになりました。もっといろんな絵にちょうせんしたいです。

北夙川子ども会

4年 佐藤 倫太郎

ぼくのしょうらいのゆめは科学しゃです。なぜかというといろいろふしぎなことがあってそれを、知りたいからです。たとえば、うちゅうはどれだけ広いか、おわりはあるのかです。

北夙川子ども会

4年 山本 愛菜

私の夢はアクターになることです。なぜかという、映画を見て私も大人になったら映画に出たいと思ったからです。今はミュージカルの習いで、歌やダンス、セリフの練習をがんばっています。私が特に好きなのはダンスです。笑顔でダンスをすると幸せな気持ちになるからです。たくさん練習して、夢をかなえたいです。

北夙川子ども会

5年 清水 藍那

数年前、祖母が亡くなった。朝は元気だったのに。ずっと悲しい気持ちで過ごした。翌年ママの友だちのあゆちゃんと遊んだ。走り回ったら足をくじいた。すぐに触って「これだったら大丈夫」と言ってくれた。安心したら痛みが消えて、気持ちも温かくなった。あゆちゃんは医者だそう。私もあゆちゃんみたいな医者になって家族を守りたいと強く思った。

わたしの夢



受賞
おめでと〜いございます
 ◎コミュニティ協会賞
 東 純也さん(種之池町)

告知板

夙川スカウト育成会
スカウトマルシェ

日時 5月12日(日)10時〜14時
 場所 夙川河川敷公園

内容 飲食ブース・ゲームブースなど
 問い合わせ先
 TEL0798・70・6535(松井)

クリーン大作戦
 主催 越木岩自治会

日時 6月2日(日)9時〜
 雨天時6月9日(日)

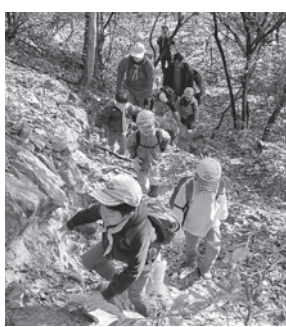
集合場所 越木岩会館
 地域内の道路や公園を清掃し、
 現地解散します
声かけ運動

共催 苦楽園地区青愛協
 北夙川地区青愛協

日時 6月上旬
 場所 ①苦楽園中学校校門前交差点
 ②(有)苦楽園食糧前
 ③里道階段上(三差路)
 ④毘沙門公園南側
 ⑤セブニーイレブン
 西宮樋之池町店前
 ⑥理容店CHOCO前

鬼は〜外! 耐寒ピクニック
ボーイスカウト西宮第13団

ビーバー隊は2月4日、銀水橋から北山ダムまでピクニックへ行きました。眺めの良い場所ではみんなで「ヤッホー!」と声を上げましたが、海に向かって叫んだため山びこは返ってきませんでした。



年長〜小学2年生が活動!



体験・見学いつでも歓迎!

節分の翌日なので、「六甲山から鬼が降りてきている」とのこと、鬼に注意しながら下山しました。北山緑化植物園に着くと、鬼に変身した指導者が出現。新聞紙を丸めた球を投げて、鬼退治! 寒くても元気満点のスカウトでした。

越木岩公民館地域学習推進員会講座

日時	5月26日(日) 13時半〜15時
内容	日曜日の昼下がり フルートデュオコンサート 〜クラシックとポピュラー(映画音楽等)など 親しみのある楽曲で午後のひと時をお楽しみください〜
出演	フルート・寺野智三子 フルード・安平玲子 ピアノ・岩本順子
対象	小学生以上
定員	70人
参加費	無料
場所	越木岩会館 2階ホール

講座の詳細はポスター、チラシ、西宮市のHPをご参照ください。
 問い合わせは市・地域学習推進課へ
 TEL0798-67-1567(平日9時〜17時)

☆越木岩公民館が令和6年3月末をもって閉館。
 建て替え工事に入るため、越木岩公民館地域学習推進員会講座は、**5月から*越木岩会館で実施**します。
 ※旧越木岩公民館から北夙川小学校に向かって徒歩約4分、小学校の西向い

わが家のペット

▼メアリーちゃん(5歳 メス)
 人懐っこい元気な子です

▲ほのかちゃん(13歳 メス)
 おとなしく、窓辺でお昼寝するのが大好き

ペットの写真募集
 写真に名前とコメントを添えて、ご応募ください(粗品進呈)。
 〒662-0072 西宮市豊楽町2-29
 越木岩会館内「タウンニュース越木岩」

越木岩地域の氏神様 ~皆様の健康をご祈念します~

6月30日
 夏越大祭

越木岩神社

申し込み・問い合わせ **0798-71-8375**
<http://www.koshikiwa-jinja.jp/>
 〒662-0092 西宮市甕岩町 5-4